

別紙 「令和3年度 学力向上アクションプラン」

足立区立東綾瀬中学校 校長 清野 正

	新 継	アクション プラン	対象・実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) いつまで・何を・どの程度
1	継 続	授 業 力 向 上	全教科	通 年 1 5 回	①小中連携による授業研究 (年7回) ・「人権尊重」の視点及び足立スタンダードに基づく授業改善 ②校内授業研究 (年2回) ・単元を見通した授業改善 ③管理職による授業観察 (年2回) ・授業観察時に全教員が学習指導案を作成 ・管理職による授業評価 ④授業見学週間の実施 ・教員相互による授業評価 ⑤都教育委員会訪問 ・全教科毎に指導主事を招聘し、授業研究を実施 ⑥生徒による授業アンケートの実施 (年2回) ・説明のわかりやすさ等について全生徒が回答	①年度末到達度 確認テストによる 検証 ②次年度区学力 調査による検証 ③生徒授業アン ケートによる検 証	①年度末到達度確 認テストの正答率 各学年60%以上 ②令和4年度区調 査通過率各学年 70%以上 ③生徒授業アンケ ートの数値全項目 10%以上向上
2	継 続	I C T の 活 用	全教科	通 年	①クロームブックの有効活用 (AIドリルを活用した学力向上) ②デジタル教科書の活用 ③モニター機能の活用	① 管理職に による授業観察 ②生徒授業アン ケート	①ICT機器を活用 して授業を行った教 員が100% ②生徒授業アンケ ートで、有効に活用さ れたとする回答 80%以上
3	新 規	家 庭 学 習 の 充 実	全学年 国語、社会、数学、理科、英語 を中心として	通 年	家庭学習課題の充実及び家庭学習の習慣化 【取り組み内容】 ・家庭学習用課題プリントを毎日配布 ・1月に年間を通した最終定着確認テストを行い、正答 率を算出する。	①保護者による 学校評価 ②生徒授業アン ケート	①保護者による学 校評価で「家庭学習 に関する指導が充 実している。」とす る回答80%以上 ②生徒授業アンケ ートで「家庭学習 の指示がわかりや すい」とする回答 80%以上

4	新規	サマースクール	数学、英語	夏季休業中の7日間	<p>基礎学力の定着及び学習の習慣化、学習意欲の向上</p> <p>【指導体制】教科担当＋学年サポートメンバー</p> <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日に事前テスト、最終日に事後テストを実施し、結果を比較し、数値を算出、入力する。 ・学年の教員で補助を行い、一人一人に対してきめ細かい指導を心掛ける。 ・1・2学年は期間中毎日、受講生徒対象に夏季課題（宿題）補習時間として1時間設ける。 <p>【使用教材】区学力調査問題、区学力調査復習問題、「次へのステップ」（C4th 書庫）、自作プリント等。</p>	事前テスト 事後テスト	最終日に事後テストを実施し、正答率10%以上上昇
5	継続	放課後補充教室	国語、社会、数学、理科、英語、その他		<p>①基礎学力の定着を図る講座 （◎ 数学A I ドリルの有効活用）</p> <p>②定期テスト対策</p> <p>③発展的な内容に関する講座</p> <p>生徒の学力及び興味・関心に応じて開設</p> <p>【取組み内容】</p> <p>〈4月～9月〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区学力調査の復習問題を行う。 ・毎回、補充教室初日に課題テストを行い、最終日に定着確認テストを行う。 ・受講生徒を対象に定着確認テストとして、9月初めに補充教室時間等を利用し、4月実施の区学力調査問題を再度実施する。正答率を個々に検証し、定着不十分の生徒はその後、再度補充教室を行う。 <p>〈10月～3月〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1週間続けて1教科の課題（宿題）を出す。次週始め、それを基にした課題テストを生徒全員に行う。 ・課題テストを採点し、対象生徒を決める。 ・補充教室は①②の2コースを同時に行う。 ・基本、1週間補充教室を行い、その最終日に受講生徒に定着確認テストを行う。 ・受講生徒の課題テストと定着確認テストの結果を比較し、数値を算出、入力する。 	①年度末到達度確認テストによる検証 ②次年度区学力調査による検証	①年度末到達度確認テストの正答率各学年60%以上 ②令和4年度区調査通過率各学年70%以上